

報告事項キ

平成28年度第1回鳥取県立博物館協議会の概要について

平成28年度第1回鳥取県立博物館協議会の概要について、別紙のとおり報告します。

平成28年4月27日

鳥取県教育委員会教育長 山本仁志

## 平成28年度第1回鳥取県立博物館協議会の概要について

平成28年4月27日  
博 物 館

今年度第1回目の会議を下記のとおり開催しましたので、その概要について下記のとおり報告します。

- 1 日 時 平成28年4月20日（水）午後1時30分から午後4時まで
- 2 場 所 鳥取県立博物館 2階 会議室（鳥取市東町二丁目124）
- 3 出席者 出席8名／13名 参考2のとおり
- 4 議題等

### (1) 議事

- ア 議長選出 …谷口委員が議長に選出された。
- イ 各部会長選出 …後日事務局に報告していただく。

### (2) 報告事項

- ア 平成27年度鳥取県立博物館事業の実施状況について
- イ 平成28年度鳥取県立博物館事業について
- ウ 第1回～第5回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について

### (3) 協議事項

- ア 鳥取県立博物館改修基本構想について

## 5 主な意見

### ア 平成27年度鳥取県立博物館事業の実施状況及び平成28年度鳥取県立博物館事業について

- ・博物館交流事業について、ロシアアルセイニエフ博物館の職員が県内の小学校で行った講座をビデオ等により県内の各小学校に紹介してはどうか。  
→今後検討する。

### イ 第1回～第5回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会の概要について

- ・事業計画（想定）の企画展7回実施は多いのではないかと思う。
- ・島根県立美術館と同程度の延べ床面積12,240㎡は大きすぎ、もう少しコンパクトでよいのではないかと思う。  
→県民に美術館の在り方や必要性等を考えていただく目安として試算したものであり、整備内容等を決定するための原案ではない。今後県民の意見を聞いていく。

### ウ 鳥取県立博物館改修基本構想について

- ・近世絵画と仏教美術の美術分野と人文分野との担当に区分けはどうするのか。  
→現時点では未定。引き続き検討していく。
- ・美術分野が外に出て、その分の収蔵庫のスペースで自然・人文分野の資料は収蔵可能なのか。  
→現在の展示室を収蔵庫に転用することもあり得る。これらについては、施設設備を検討する際に考えていく。
- ・美術分野が外に出てから、新しい美術館に自然・人文分野の資料を移転して、現施設を耐震改修とのことだが、それは可能なのか。  
→新しい美術館の収蔵庫は、将来のことを考えて広めにしたいと思っているので、自然・人文分野の資料の一時保管は可能だと思う。また、そうしないと貴重な資料を県外の施設で保管しなければならず、輸送・保管に多大な経費がかかる。
- ・PFIの検討は、現施設の改修についても行うのか。  
→県の方針として、整備費10億円、運営費1億円以上の施設については検討が必要であり、現施設の改修も検討の対象になると思われる。

- ・「4博物館のあり方に関する基本認識」の「(1) 鳥取県の自然と人間の歩みの継承と活用」と「(2) 国内外の自然や人間の歩みの理解と交流」が同列の扱いになっているが、(1)の方が重要である。  
→検討する。
- ・展示の各学問分野の融合については、具体的にはどのような内容か。  
→基本は、地学・生物・歴史・考古・民俗の各分野の展示であり、それとは別に「鳥取県を学ぶ」スペースが必要と考えており、そういうスペースについて各学問分野を融合して、分かりやすい展示にしたい。
- ・「6必要な機能」の「(1) 収集保管」のところで「蔵」という字句が使っているが、「収蔵庫」に統一した方がよいのではないか。
- ・多くの方が博物館に持っているイメージは、ホルマリンの臭いがする「蔵」というイメージだと思うが、この「蔵」がどれだけ面白いかを伝えるため、映像を活用する等見せ方の工夫が必要である。  
→事業計画で検討する。
- ・自然及び歴史・民俗を分離することも真剣に考えなければならない。  
→現施設を耐震改修してもいつかは使えなくなるので、考えなければならないことと思うが、当面は、自然、歴史・民俗の2分野のための施設として改修する方向で検討していく。
- ・駐車場不足の問題に触れられてないが、最も大切な問題である。例えば美術館整備の鳥取市からの推薦の候補地を博物館の駐車場として提供してもらうことが必要ではないか。  
→鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会でも、鳥取市から駐車場が不足している東町近辺の駐車場対策に係る考えを聞くべきといった意見も出されたが、そこまで検討すると話が進まなくなる。

**参考1** 本協議会は博物館法第20条の規定により開館当初の昭和47年から設置しており、博物館の運営に関し意見を述べる機関である。

**参考2** 協議会委員名簿（任期：H28.4.1～H30.3.31）

氏名	ふりがな	役職等	区分	再・新	出欠	備考
西浦 公子	にしうら きみこ	東部地区家庭教育相談員連絡協議会代表	家庭教育	再	出	
民木 寛子	たみき ひろこ	鳥取市立津ノ井小学校校長	学校教育	再	欠	
谷口 博繁	たにぐち ひろしげ	元鳥取県立博物館長	社会教育	新	出	議長
田村 閑美	たむら しずみ	鳥取中央女性会会長	社会教育	再	出	
小玉 芳敬	こだま よしのり	鳥取大学地域学部教授	学識経験者	再	出	
鶴崎 展巨	つるさき のぶお	鳥取大学地域学部教授	学識経験者	新	出	
井島 真知	いしま まち	ベルナール・ビュフェ美術館学芸員	学識経験者	再	出	
前田 昭範	まえた あきのり	元倉吉博物館長	学識経験者	新	出	
石谷 孝二	いしたに こうじ	鳥取大学地域学部附属芸術文化センター教授	学識経験者	新	欠	
木ノ下智恵子	きのした ちえこ	アートプロデューサー（前大阪大学特任准教授）	学識経験者	新	欠	
坂本 敬司	さかもと けいじ	前鳥取県史編さん室長	学識経験者	再	出	
野地 恒有	のじ つねあり	愛知教育大学教授	学識経験者	再	欠	
李 素妍	い そよん	鳥取大学地域学部准教授	学識経験者	新	欠	

委員13名 新任6名、再任7名

※鳥取県立博物館協議会に関する条例第3条の規程により、委員は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者13名を任命。

鳥取県立博物館 現施設改修基本構想 策定スケジュール

時期	作成スケジュール	その他
H27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>■協議会委員等からの聞取</li> <li>■第1回鳥取県立博物館協議会 (H27/9/2) [進め方、構成等]</li> <li>■第2回鳥取県立博物館協議会 (H28/1/25) [基本認識、設置目的、必要な機能等]</li> </ul>	
H28 年度 4月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>■第1回鳥取県立博物館協議会 (H28/4/20) [コンセプト]</li> </ul>	4/12:第2回鳥取県立美術館候補地評価等専門委員会 4/25:第6回鳥取県美術館整備基本構想検討委員会
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■第2回鳥取県立博物館協議会 [事業計画、運営手法等]</li> </ul>	
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■第3回鳥取県立博物館協議会 [施設設備]</li> </ul>	
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■第4回鳥取県立博物館協議会 [基本構想案まとめ]</li> <li>■パブリックコメント</li> </ul>	
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>■第5回鳥取県立博物館協議会 [パブリックコメント等を反映し、最終とりまとめ]</li> </ul>	